

スイッチのコンフィギュレーションファイルのダウンロードまたはバックアップ

目的

スイッチのバックアップコンフィギュレーションファイルまたはログは、トラブルシューティングやデバイスが誤ってリセットされた場合に役立ちます。これには、システムのシャットダウンや特定の動作状態の維持に使用されるファイルの手動コピーが含まれます。たとえば、ミラー構成、スタートアップコンフィギュレーション、または実行コンフィギュレーションをコピーしてバックアップファイルに保存できます。このファイルを使用して、スイッチを更新または機能状態に戻すことができます。

バックアップ設定ファイルは、スイッチに接続された内部フラッシュメモリまたはUSBデバイス、トリビアルファイル転送プロトコル(TFTP)サーバ、セキュアコピー(SCP)サーバ、またはコンピュータに保存できます。この記事では、次のいずれかの方法でシステム設定ファイルをダウンロードまたはバックアップする方法について説明します。

- [Via TFTP](#):TFTP経由でコンフィギュレーションファイルをダウンロードまたはバックアップするには、Trivial File Transfer Protocol(TFTP)方式を選択します。TFTPは主にLANのコンピュータの起動に使用され、ファイルのダウンロードにも適しています。
- [HTTP/HTTPS経由](#):HTTP/HTTPS経由でコンフィギュレーションファイルをダウンロードまたはバックアップするには、ハイパーテキスト転送プロトコル(HTTP)またはハイパーテキスト転送プロトコルセキュア(HTTPS)方式を選択します。この方法は、ファイルのダウンロードに対してより安全な方法であるため、より一般的です。
- [Via SCP\(Over SSH\)](#) :セキュアコピー(SCP)(Over(SSH)方式)は、セキュアシェル(SSH)を介してコンフィギュレーションファイルをダウンロードまたはバックアップするために選択されます。このコンフィギュレーションファイルのダウンロードまたはバックアップは、セキュアなネットワークを介して行われます。
- [USBまたは内部フラッシュ経由](#) :この方法は、スイッチの内部フラッシュメモリまたは接続されたUSBドライブにソースファイルをダウンロードまたはバックアップするために選択されます。

該当するデバイス

- Sx250シリーズ
- Sx350シリーズ
- SG350Xシリーズ
- Sx550Xシリーズ

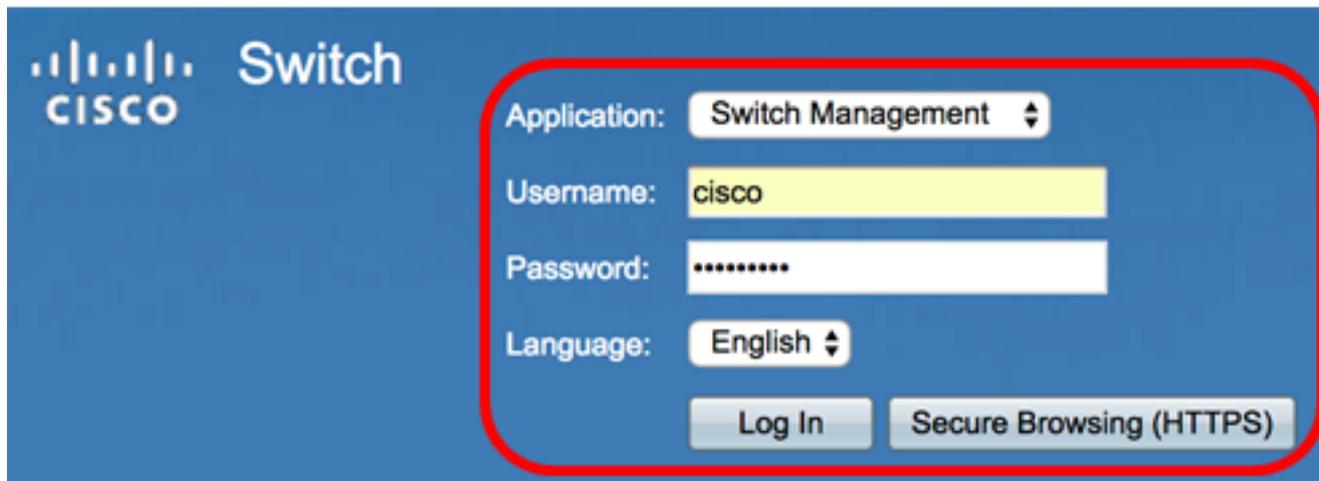
[Software Version]

- 2.3.0.130

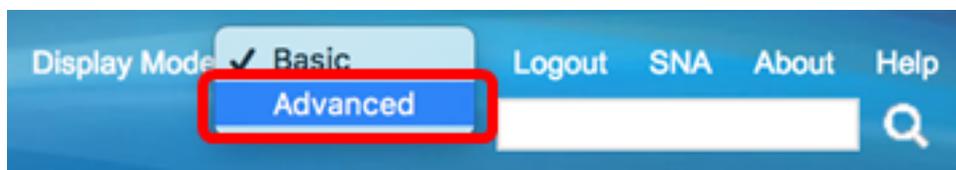
コンフィギュレーションファイルのバックアップ

ステップ1 : スwitchのWebベースのユーティリティにログインします。デフォルトのユーザ名とパスワードはcisco/ciscoです。

注：パスワードをすでに変更しているか、または新しいアカウントを作成している場合は、代わりに新しいクレデンシャルを入力します。

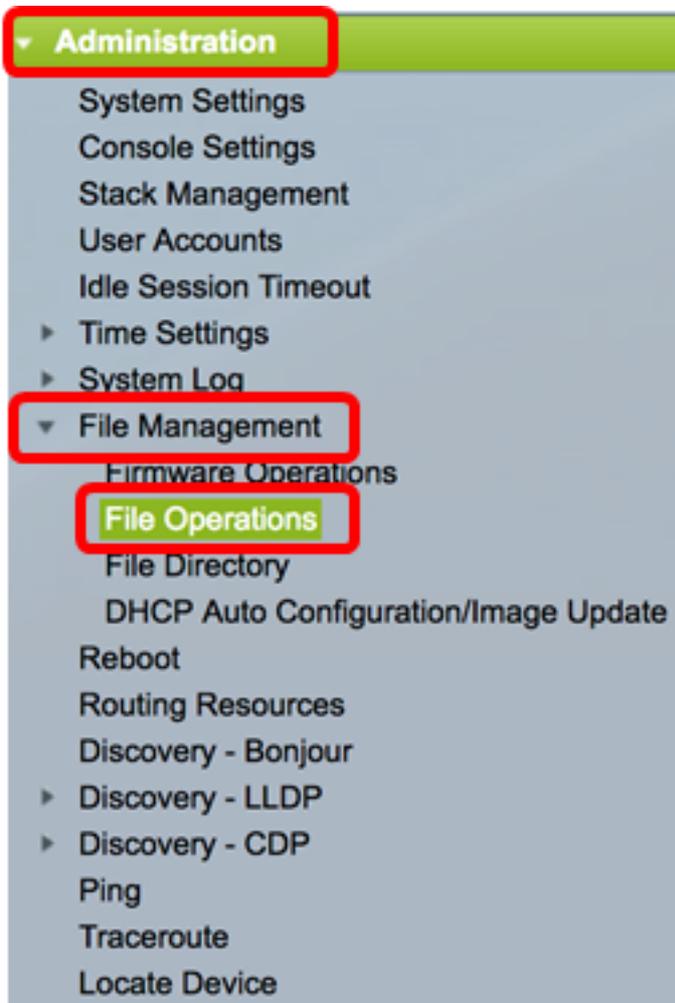
The image shows the Cisco Switch login page. The header includes the Cisco logo and the word "Switch". The main content area is a rounded rectangle with a red border, containing the following fields: "Application:" with a dropdown menu set to "Switch Management"; "Username:" with a text input field containing "cisco"; "Password:" with a masked text input field; and "Language:" with a dropdown menu set to "English". At the bottom of this area are two buttons: "Log In" and "Secure Browsing (HTTPS)".

ステップ2:[Display Mode]ドロップダウンリストから[Advanced]を選択します。

The image shows a close-up of the "Display Mode" dropdown menu. The menu is open, showing two options: "Basic" (which is currently selected and has a checkmark) and "Advanced" (which is highlighted with a red box). To the right of the dropdown are links for "Logout", "SNA", "About", and "Help".

ステップ3:[Administration] > [File Management] > [File Operations]をクリックします。

注：使用できるメニューオプションは、デバイスのモデルによって異なります。この例では、SG350X-48MPスイッチが使用されています。

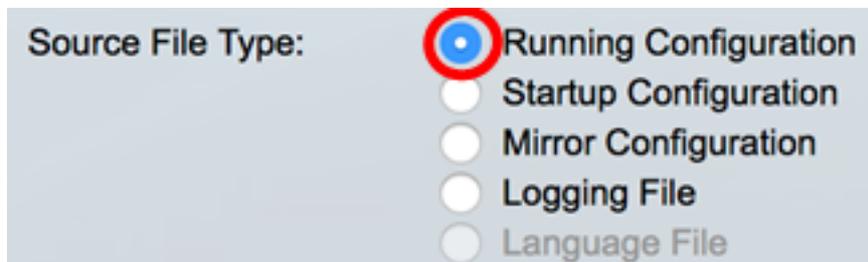


ステップ4:[Backup File]ラジオ・ ボタンをクリックして、構成ファイルをバックアップします。



ステップ5:[Source File Type]領域で、バックアップするファイルの種類のオプションボタンをクリックします。スイッチは、次のコンフィギュレーションファイルを保持します。

- 実行コンフィギュレーション：最後のリブート以降に管理セッションで適用された変更を含む、現在のコンフィギュレーションを含むコンフィギュレーションファイル。
- スタートアップコンフィギュレーション：フラッシュメモリに保存されるコンフィギュレーションファイル。
- ミラー構成：実行コンフィギュレーションファイルが少なくとも24時間変更されていない場合は、ミラー構成ファイルタイプに自動的に保存されます。
- Logging File：スイッチはすべてのログを保存します。
- 言語ファイル：スイッチが言語情報を保存する場所です。



注：この例では、[Running Configuration] が選択されています。

ステップ6：次のバックアップ方法から1つを選択します。

- [HTTP/HTTPS経由](#)
- [USBまたは内部フラッシュ経由](#)
- [TFTP経由](#)
- [SCP経由\(Over SSH\)](#)

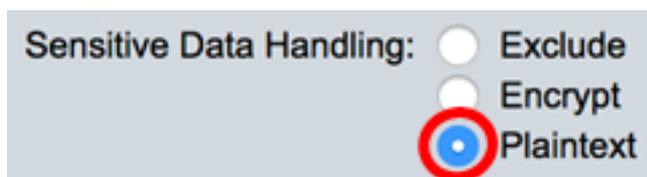
[HTTP/HTTPSによるシステム設定ファイルのバックアップ](#)

ステップ1:[HTTP/HTTPS]ボタンをクリックして、ローカルコンピュータの設定ファイルをバックアップします。



ステップ2：機密データの処理領域で、機密データをバックアップ・ファイルに含める方法を選択します。次のオプションがあります。

- *Exclude*：機密データをバックアップに含めない。
- *暗号化*：機密データを暗号化された形式でバックアップに含めます。
- *Plaintext* – 機密データをプレーンテキスト形式でバックアップに含めます。



注：この例では、[Plaintext]が選択されています。これにより、すべてのデータがプレーンテキスト形式でバックアップされます。

ステップ3:[Apply]をクリックします。

File Operations

- Operation Type:
- Update File
 - Backup File
 - Duplicate
- Source File Type:
- Running Configuration
 - Startup Configuration
 - Mirror Configuration
 - Logging File
 - Language File
- Copy Method:
- HTTP/HTTPS
 - USB
 - Internal Flash
 - TFTP
 - SCP (File transfer via SSH)
- Sensitive Data Handling:
- Exclude
 - Encrypt
 - Plaintext



Apply

Cancel

操作が終了すると、[ファイル操作]ページに成功メッセージが表示されます。

File Operations

 Success.

- Operation Type:
- Update File
 - Backup File
 - Duplicate
- Source File Type:
- Running Configuration
 - Startup Configuration
 - Mirror Configuration
 - Logging File
 - Language File
- Copy Method:
- HTTP/HTTPS
 - USB
 - Internal Flash
 - TFTP
 - SCP (File transfer via SSH)
- Sensitive Data Handling:
- Exclude
 - Encrypt
 - Plaintext



Apply

Cancel

これで、HTTP/HTTPS転送方式を使用して、スイッチのコンフィギュレーションファイル

を正常にバックアップできました。

[トップに戻る]

USBまたは内部フラッシュによるシステムコンフィギュレーションファイルのバックアップ

ステップ1: コピー方法として[USB]または[内部フラッシュ]を選択します。この例では、[Internal Flash]が選択されています。

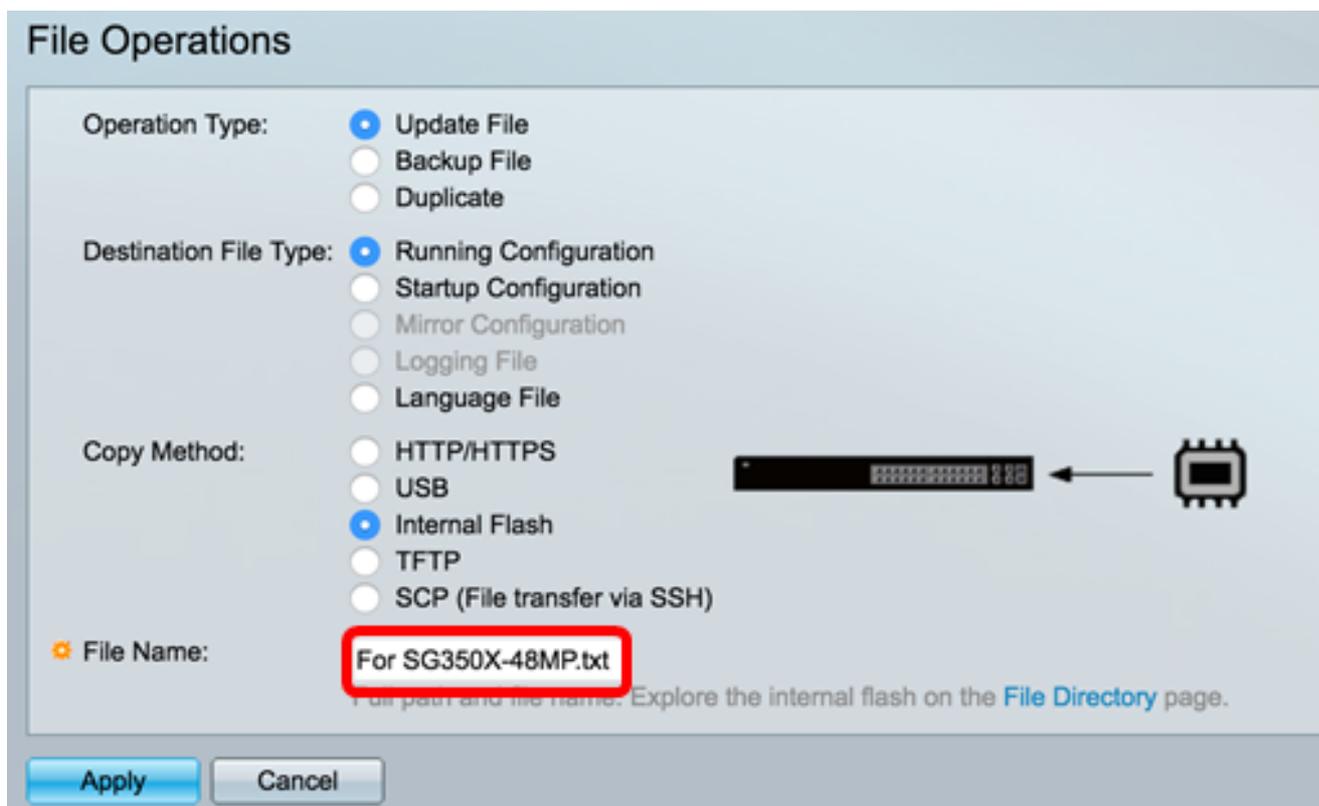


Copy Method:

- HTTP/HTTPS
- USB
- Internal Flash
- TFTP
- SCP (File transfer via SSH)

ステップ2:[ファイル名]フィールドに、コピー先ファイルの名前を入力します。

注: この例では、SG350X-48MP.txtという名前の実行コンフィギュレーションファイルが、スイッチの内部フラッシュメモリに保存されます。



File Operations

Operation Type:

- Update File
- Backup File
- Duplicate

Destination File Type:

- Running Configuration
- Startup Configuration
- Mirror Configuration
- Logging File
- Language File

Copy Method:

- HTTP/HTTPS
- USB
- Internal Flash
- TFTP
- SCP (File transfer via SSH)

File Name: **For SG350X-48MP.txt**

Apply Cancel

ステップ3:[Sensitive Data Handling]領域で、機密データをバックアップファイルに含める方法を選択します。次のオプションがあります。

- Exclude: 機密データをバックアップに含めない。
- Encrypt: 機密データを暗号化された形式でバックアップに含めます。
- プレーンテキスト: 機密データをプレーンテキスト形式でバックアップに含めます。

Sensitive Data Handling: Exclude
 Encrypt
 Plaintext

注：この例では、[Plaintext]が選択されています。これにより、すべてのデータがプレーンテキスト形式でバックアップされます。

ステップ4:[Apply] をクリックして、内部フラッシュからスイッチにコンフィギュレーションファイルをコピーします。

File Operations

Operation Type: Update File
 Backup File
 Duplicate

Source File Type: Running Configuration
 Startup Configuration
 Mirror Configuration
 Logging File
 Language File

Copy Method: HTTP/HTTPS
 USB
 Internal Flash
 TFTP
 SCP (File transfer via SSH)

File Name:
Full path and file name. Explore the internal flash on the [File Directory](#) page.

Sensitive Data Handling: Exclude
 Encrypt
 Plaintext



操作が終了すると、[ファイル操作]ページに成功メッセージが表示されます。

File Operations



Success.

- Operation Type:
- Update File
 - Backup File
 - Duplicate
- Source File Type:
- Running Configuration
 - Startup Configuration
 - Mirror Configuration
 - Logging File
 - Language File
- Copy Method:
- HTTP/HTTPS
 - USB
 - Internal Flash
 - TFTP
 - SCP (File transfer via SSH)
- File Name:
- Full path and file name. Explore the internal flash on the [File Directory](#) page.
- Sensitive Data Handling:
- Exclude
 - Encrypt
 - Plaintext



Apply

Cancel

これで、内部フラッシュまたはUSBコピー方式を使用して、スイッチのシステムコンフィギュレーションファイルを正常にバックアップできました。

TFTPによるシステムコンフィギュレーションファイルのバックアップ

ステップ1:[Copy Method(コピー方法)]領域で、[TFTPradio(TFTPラジオボタン)]をクリックします。TFTP方式は、TFTPサーバ経由でコンフィギュレーションファイルをダウンロードまたはバックアップするために選択されます。このコンフィギュレーションファイルのダウンロードまたはバックアップは、セキュアなネットワークを介して行われます。

- Copy Method:
- HTTP/HTTPS
 - USB
 - Internal Flash
 - TFTP
 - SCP (File transfer via SSH)



ステップ2:[TFTPサーバの定義(TFTP Server Definition)]領域のラジオボタンをクリックします。次のオプションがあります。

- *By IP address*:TFTPサーバのIPアドレスを入力することを選択します。この例では、このオプションが選択されています。
- *By name*:TFTPサーバのホスト名を入力することを選択します。このオプションを選択

した場合は、ステップ4に[進みます](#)。

Server Definition: By IP address By name

ステップ3: (オプション) [IPアドレス別]を選択した場合は、[IPバージョン]領域から[バージョン4 (IPv4)]または[バージョン6 (IPv6)]を選択します。バージョン6を選択した場合は、[IPv6 Address Type]領域でIPv6がリンクローカルアドレスかグローバルアドレスかを指定します。リンクローカルアドレスの場合は、[リンクローカルインターフェイス(Link Local Interface)]ドロップダウンリストからインターフェイスを選択します。バージョン4を選択した場合は、ステップ4に[進みます](#)。

Server Definition: By IP address By name
IP Version: Version 6 Version 4
IPv6 Address Type: Link Local Global
Link Local Interface: VLAN 1

注：この例では、IPバージョン4が選択されています。

[ステップ4:\(オプション\)](#)ステップ2で[名前による(By name)]を選択した場合は、[サーバIPアドレス/名前(Server IP Address/Name)]フィールドにTFTPサーバのホスト名を入力します。それ以外の場合は、IPアドレスを入力します。

Server Definition: By IP address By name
IP Version: Version 6 Version 4
IPv6 Address Type: Link Local Global
Link Local Interface: VLAN 1
Server IP Address/Name: 192.168.100.147

注：この例では、コンフィギュレーションファイルはIPアドレス192.168.100.147のTFTPサーバに保存されます。

ステップ5:[Destination]フィールドにバックアップファイル名を入力します。この例では、SG350X-48MP.txtが使用されています。

Server IP Address/Name: 192.168.100.147
Destination: SG350X-48MP.txt

ステップ6:[Sensitive Data Handling]領域で、バックアップファイルに機密データを含める方法を選択します。次のオプションがあります。

- *Exclude* : 機密データをバックアップに含めない。
- *暗号化* : 機密データを暗号化された形式でバックアップに含めます。
- *Plaintext* - 機密データをプレーンテキスト形式でバックアップに含めます。

Sensitive Data Handling: Exclude
 Encrypt
 Plaintext

注：この例では、[Encrypt]が選択されています。これにより、すべてのデータが暗号化形式でバックアップされます。

ステップ7:[Apply]をクリックし、バックアップ操作を開始します。

File Operations

Operation Type: Update File
 Backup File
 Duplicate

Source File Type: Running Configuration
 Startup Configuration
 Mirror Configuration
 Logging File
 Language File

Copy Method: HTTP/HTTPS
 USB
 Internal Flash
 TFTP
 SCP (File transfer via SSH)

Server Definition: By IP address By name

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

Server IP Address/Name:

Destination:

Sensitive Data Handling: Exclude
 Encrypt
 Plaintext

操作が終了すると、[ファイル操作]ページに成功メッセージが表示されます。

File Operations



Success.

- Operation Type: Update File
 Backup File
 Duplicate
- Source File Type: Running Configuration
 Startup Configuration
 Mirror Configuration
 Logging File
 Language File
- Copy Method: HTTP/HTTPS
 USB
 Internal Flash
 TFTP
 SCP (File transfer via SSH)
- Server Definition: By IP address By name
- IP Version: Version 6 Version 4
- IPv6 Address Type: Link Local Global
- Link Local Interface:
- Server IP Address/Name:
- Destination: (0/160 characters used)
- Sensitive Data Handling: Exclude
 Encrypt
 Plaintext



Apply

Cancel

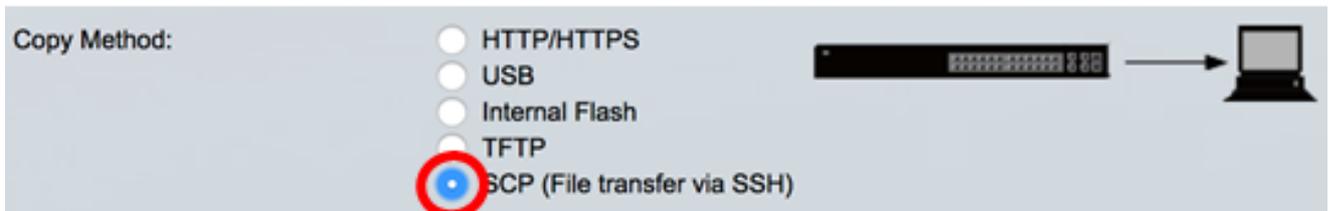
これで、TFTPコピー方式を使用してスイッチのコンフィギュレーションファイルを正常にバックアップできました。

[トップに戻る]

[SCP\(Over SSH\)を使用したシステムコンフィギュレーションファイルのバックアップ](#)

重要 : SCP方式に進む前に、SSHサーバ認証が有効になっており、対応する設定が設定されていることを確認してください。スイッチでSSH認証を設定する方法については、[ここをクリックしてください](#)。

ステップ1:[Copy Method (コピー方法)]領域で、[SCP (File transfer via SSH)]オプションボタンをクリックします。SCP方式は、セキュアシエル(SSH)経由でコンフィギュレーションファイルをダウンロードまたはバックアップするために選択されます。このコンフィギュレーションファイルのダウンロードまたはバックアップは、セキュアなネットワークを介して行われます。

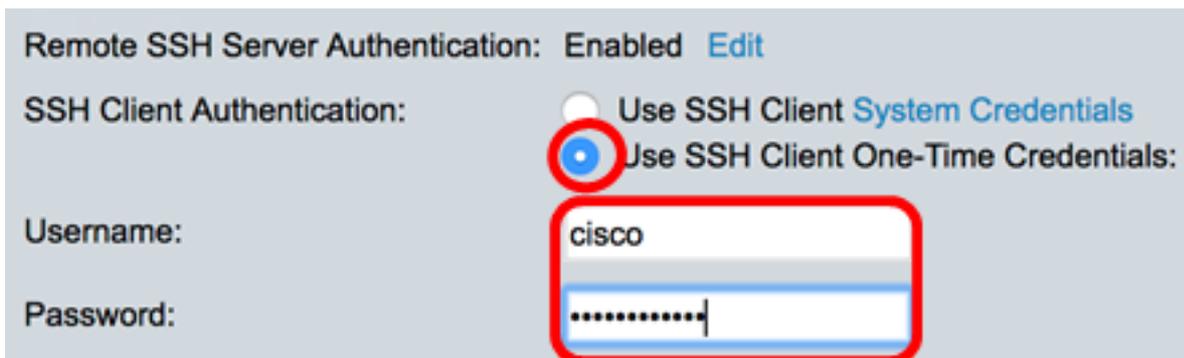


ステップ2:[Remote SSH Server Authentication]が[Enabled]に設定されていることを確認します。この機能はSSHサーバを認証し、予想されるSSHサーバが正しいことを確認します。デフォルトでディセーブルになっている。この機能を無効にしても、ファイル操作のSSH通信には影響しません。無効の場合は、[編集]をクリックして機能を有効にします。

Remote SSH Server Authentication: Enabled **Edit**

ステップ3:[SSH Client Authentication]領域のオプションボタンを選択して、リモートホストへの接続時に使用するSSHクレデンシャルを指定します。スイッチに保存されている永続的なSSHクレデンシャルを使用するには、[Use SSH Client System Credentials]を選択します(これらのクレデンシャルは、[System Credentials]をクリックしてSSH User Authenticationページを開くか、[Use SSH Client One-Time Credentials]をををを使用一時的一時的一時的一時的クレデンシャルにに使用使用使用します)。

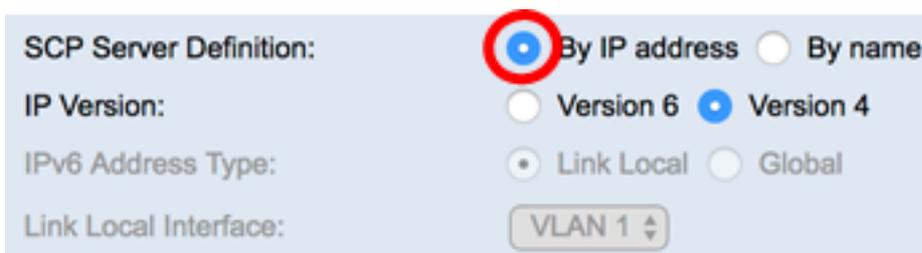
注：ワンタイムクレデンシャルのユーザ名とパスワードは設定ファイルに保存されません。



注：この例では、[Use SSH Client One-Time Credentials]が選択され、ユーザ名とパスワードの詳細が入力されます。

ステップ4:[SCP Server Definition]領域のラジオ ボタンをクリックします。次のオプションがあります。

- *By IP address*:SCPサーバのIPアドレスを入力することを選択します。この例では、このオプションが選択されています。
- *By name*:SCPサーバのホスト名を入力することを選択します。このオプションを選択した場合は、ステップ6に[進みます](#)。



ステップ5:(オプション) [IPアドレス別]を選択した場合は、[IPバージョン]領域から[バージョン4 (IPv4)]または[バージョン6 (IPv6)]を選択します。バージョン6を選択した場合は、

[IPv6 Address Type]領域でIPv6がリンクローカルアドレスかグローバルアドレスかを指定します。リンクローカルアドレスの場合は、[リンクローカルインターフェイス(Link Local Interface)]ドロップダウンリストからインターフェイスを選択します。バージョン4を選択した場合は、ステップ6に**進みます**。

SCP Server Definition: By IP address By name
IP Version: Version 6 Version 4
IPv6 Address Type: Link Local Global
Link Local Interface: VLAN 1

注：この例では、IPバージョン4が選択されています。

ステップ6:(オプション)ステップ4で[By name]を選択した場合は、[Server IP Address/Name]フィールドにTFTPサーバのホスト名を入力します。それ以外の場合は、IPアドレスを入力します。

Server Definition: By IP address By name
IP Version: Version 6 Version 4
IPv6 Address Type: Link Local Global
Link Local Interface: VLAN 1
Server IP Address/Name: 192.168.100.148

注：この例では、コンフィギュレーションファイルはIPアドレス192.168.100.148のSCPサーバに保存されます。

ステップ7:[Destination]フィールドにバックアップファイル名を入力します。この例では、バックアップ設定ファイルがSG350X-48MP.txtファイルに保存されます。

Server IP Address/Name: 192.168.100.148
Destination: SG350X-48MP.txt

ステップ8:[Sensitive Data Handling]領域で、機密データをバックアップファイルに含める方法を選択します。次のオプションがあります。

- *Exclude* : 機密データをバックアップに含めない。
- *暗号化* : 機密データを暗号化された形式でバックアップに含めます。
- *Plaintext* – 機密データをプレーンテキスト形式でバックアップに含めます。

Sensitive Data Handling: Exclude Encrypt Plaintext

注：この例では、[Exclude]が選択されています。バックアップファイルには機密データは含まれません。

ステップ9:[Apply]をクリックし、バックアップ操作を開始します。

File Operations

Operation Type:	<input type="radio"/> Update File
	<input checked="" type="radio"/> Backup File
	<input type="radio"/> Duplicate
Source File Type:	<input checked="" type="radio"/> Running Configuration
	<input type="radio"/> Startup Configuration
	<input type="radio"/> Mirror Configuration
	<input type="radio"/> Logging File
	<input type="radio"/> Language File
Copy Method:	<input type="radio"/> HTTP/HTTPS
	<input type="radio"/> USB
	<input type="radio"/> Internal Flash
	<input type="radio"/> TFTP
	<input checked="" type="radio"/> SCP (File transfer via SSH)
Remote SSH Server Authentication:	Enabled Edit
SSH Client Authentication:	<input type="radio"/> Use SSH Client System Credentials
	<input checked="" type="radio"/> Use SSH Client One-Time Credentials:
Username:	<input type="text" value="cisco"/>
Password:	<input type="password" value="*****"/>
Server Definition:	<input checked="" type="radio"/> By IP address <input type="radio"/> By name
IP Version:	<input type="radio"/> Version 6 <input checked="" type="radio"/> Version 4
IPv6 Address Type:	<input checked="" type="radio"/> Link Local <input type="radio"/> Global
Link Local Interface:	<input type="text" value="VLAN 1"/>
✦ Server IP Address/Name:	<input type="text" value="192.168.100.148"/>
✦ Destination:	<input type="text" value="SG350X-48MP.txt"/>
Sensitive Data Handling:	<input checked="" type="radio"/> Exclude
	<input type="radio"/> Encrypt
	<input type="radio"/> Plaintext

操作が終了すると、[ファイル操作]ページに成功メッセージが表示されます。

File Operations



Success.

Operation Type:	<input type="radio"/> Update File
	<input checked="" type="radio"/> Backup File
	<input type="radio"/> Duplicate
Source File Type:	<input checked="" type="radio"/> Running Configuration
	<input type="radio"/> Startup Configuration
	<input type="radio"/> Mirror Configuration
	<input type="radio"/> Logging File
	<input type="radio"/> Language File
Copy Method:	<input type="radio"/> HTTP/HTTPS
	<input type="radio"/> USB
	<input type="radio"/> Internal Flash
	<input type="radio"/> TFTP
	<input checked="" type="radio"/> SCP (File transfer via SSH)
Remote SSH Server Authentication:	Enabled Edit
SSH Client Authentication:	<input checked="" type="radio"/> Use SSH Client System Credentials
	<input type="radio"/> Use SSH Client One-Time Credentials:
Username:	<input type="text"/>
Password:	<input type="password"/>
Server Definition:	<input checked="" type="radio"/> By IP address <input type="radio"/> By name
IP Version:	<input type="radio"/> Version 6 <input checked="" type="radio"/> Version 4
IPv6 Address Type:	<input checked="" type="radio"/> Link Local <input type="radio"/> Global
Link Local Interface:	<input type="text" value="VLAN 1"/>
<input checked="" type="radio"/> Server IP Address/Name:	<input type="text"/>
<input checked="" type="radio"/> Destination:	<input type="text"/> (0/160 characters used)
Sensitive Data Handling:	<input checked="" type="radio"/> Exclude
	<input type="radio"/> Encrypt
	<input type="radio"/> Plaintext

これで、SCPコピー方式を使用して、スイッチのコンフィギュレーションファイルを正常にバックアップできました。

[トップに戻る]

スイッチのコンフィギュレーションファイルを更新する方法については、[ここをクリックします](#)。構成ファイルを複製するには、[ここをクリックしてください](#)。